

## 拒絶理由通知書



特許出願の番号	平成 11 年 特許願 第 0 8 4 7 6 9 号
起案日	平成 15 年 3 月 11 日
特許庁審査官	仁科 雅弘 2 9 2 2 3 X 0 0
特許出願人代理人	上柳 雅誉 (外 1 名) 様
適用条文	第 2 9 条第 2 項、第 3 6 条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 60 日以内に意見書を提出して下さい。

F004658

生原

## 理由

理由 A. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第 36 条第 6 項第 2 号に規定する要件を満たしていない。

## 記

請求項 3 に記載された「前記制御回路基板が載置され前記ドライバ I C の入力側端子は、」は、日本語として不明確である。

理由 B. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 29 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1 ~ 11
- ・引用文献等 1、2
- ・備考

Best Available Copy

引用文献 1 の第 5 頁右欄第 31 行以降、及び第 10 ~ 15 図を特に参照。引用文献 1 のフレキシブル基板 16 は、本願発明の制御回路基板に相当する。

引用文献2の第1, 2図を参照。引用文献2には、第1突出部及び第2突出部を有する表示装置が記載されている。

引用文献1に記載された発明のCOG実装される突出部に代えて、引用文献2に記載されたCOG実装される第1, 2突出部を適用することは、当業者が容易に想到し得たことである。

引用文献1に記載されたフレキシブル基板16を多層配線基板とすることに、格別なことは認められない。

引用文献1に記載された発明の表示素子としてエレクトロルミネッセンスを採用することに、格別なことは認められない。

引用文献1に記載された表示装置を筐体内に収納することに、格別なことは認められない。

引用文献1に記載された入力配線22の他端を突出部の短辺近傍まで引き回し、フレキシブル基板16と接続することに、格別なことは認められない。

#### 引用文献等一覧

1. 特開平8-262467号公報 引例手配済
2. 実願平2-75490号(実開平4-33077号)のマイクロフィルム 引例手配済

---

#### 先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野

G09F 9/00  
G02F 1/1343, 1/1345, 1/135, 1/136, 1/136  
5, 1/1368

この拒絶理由通知書について問い合わせがあるとき、または、この出願について面接を希望されるときは、下記にご連絡ください。

連絡先 特許審査第二部 生活機器(照明) 小宮 寛之

発送番号 087071  
発送日 平成15年 3月18日 3 / 3

TEL 03-3581-1101(内線3371)

Rest Available Copy

This Page Blank (uspto)